

文章を書く

名前

組番

月日

正答数

6

ねらい

●書きたいことが読み手に伝わる文章が書ける。

問題

五年二組では、「学校でいちばんおもしろかったこと」についての文章を書いて、それぞれの家庭に配ることになりました。あなたなら、どのように書きますか。次の点に注意して書きましょう。

〈注意する点〉

- ① 二つの段落に分けて書きましょう。
- ② 一つめの段落には、あなたの「学校でいちばんおもしろかったこと」を書きましょう。
- ③ 二つめの段落には、一つめの段落で書いた「おもしろかったこと」について、どんなところがおもしろかったのかをくわしく書きましょう。
- ④ 七行から、九行の間(一二一字から、一八〇字の間)で書きましょう。

要点チェック

- ① 学校でしていることを思い出し、作文に書くことのメモを作る。
 - ・学校でしていることを思い出し、おもしろかったことをあげてみる。
 - ・おもしろかったことの中から、いちばんおもしろかったことを選ぶ。
 - ・いちばんおもしろかったことのやり方をかじょう書きにしてみる。
 - ・いちばんおもしろかったことをやるときの気持ちを書いてみる。
 - ・なぜそれがいちばんおもしろかったのかを考えて、書いてみる。

- ② メモを見ながら、原こう用紙に作文を書いていく。

★原こう用紙の正しい使い方をかくにんしよう。

- ・文字は、一字ずつます目の中に書く。
- ・。、、「」「』』（ ）などのふ号も、一ますに一つ書く。
- ・。、。「」が行の初めにきたら、前行の文字と同居ますに入れてよい。
- ・書き出しや段落の初めは、一字下げて書き始める。
- ・会話文は、行をかえて、「。」でくくって書く。



- ③ 読み直して、漢字のまちがいや、文のおかしいところはなにかを点けんし、直す。

文章を書く

POINT

(1) ① 例 ミニバスケット・ビオ

トープの観察・運動会・図工

② 例 ビオトープの観察

③ 例 一つの季節にどんなトンボが来るかを観察する。毎年四年生が観察して、観察日記を受けつぐ。

④ 例 ギンヤンマが、その年初めて来たとき、ヤッターと思った。

⑤ 例 トンボが来たのを見つけるとうれしいし、いろんな発見がおもしろいから。

(2) 例

四年生のときにやった、ビオトープでの観察がとてもおもしろかった。

四年生は、だいたい、トンボの観察をしている。いつ、どんなトンボが来るかを観察して、受けつがれている観察日記を書く。前の年の人たちが書いた日記を見て、そろそろ来るころだなあと楽しみにしているときに、本当に来たのを見つけると、ヤッターと思う。こういう発見が、とても感動する。

(1) 作文に書くことを、前もって書き出してみることで、いきなり原こう用紙に書くよりもいろいろなことが思いかびます。また、書くことを整理することもできます。ですから、作文を書くこうとするときには、何をどう書くかを決める、作文メモを作るようにしましょう。

(2) 作文メモをもとに作文を書きますが、原こう用紙の使い方をかくにし、正しく使いましう。

段落の初めは一字下げます。「二つの段落に分けて書きましよう。」とあるので、書き出しと、二つめの段落の初めを一字下げます。

文章を書く

例

- (1) ① 下級生に積極的にあいさつをすること。
② 朝、通学路で会った下級生には、自分からあいさつをしている。
- (2)

に	下	級	生	が	六	年	生	に	な	っ	た	と	き	に	も	、	同	じ	よ	う	に	あ	い	さ	つ	を	し	て	あ	げ	て	ほ	し	い	で	す	。																																																																																																																																		
に	下	級	生	に	は	、	自	分	か	ら	「	お	は	よ	う	」	と	あ	い	さ	つ	を	し	て	い	ま	す	。	す	る	と	、	下	級	生	も	あ	い	さ	つ	を	し	て	い	ま	す	。	す	る	と	、	次	に	ま	た	会	っ	た	と	き	に	下	級	生	の	方	か	ら	あ	い	さ	つ	を	し	て	く	れ	た	り	し	ま	す	。	に	あ	い	さ	つ	を	す	る	こ	と	を	が	ん	ば	っ	て	い	ま	す	。	わ	た	し	は	、	五	年	生	と	し	て	、	下	級	生	に	積	極	的	に	登	校	す	る	と	き	に	も	、	通	学	路	で	会	っ	た	下	級	生	に	は	、	自	分	か	ら	「	お	は	よ	う	」	と	あ	い	さ	つ	を	し	て	い	ま	す	。